

第1回 舞鶴市図書館基本計画審議会 記録（抄録）

日時：令和4年4月21日（木）

午後1時30分～3時40分

会場：舞鶴市役所別館5階 中会議室

<議事>

- (1) 開会
- (2) 図書館基本計画審議会 委員委嘱、会長・副会長選任
- (3) 図書館基本計画審議会 議事

前回(策定準備部会)土産資料 説明

審議会議題⑩ 新「舞鶴市資料収集方針と資料選定基準」を確認する

審議会議題⑪ 新中央図書館の候補地とその適正を検討する

審議会議題⑫ 全市全域図書館サービスシステムを再編する

審議会議題⑬ 学校図書館整備充実化のための文科省施策と他市事例研究

審議会議題⑭ 京都府北部の図書館広域連携を考える

今回土産資料 説明

<会議録>

- (1) 開会 (13時30分)

★市長 挨拶

- (2) 図書館基本計画審議会 委員委嘱、会長・副会長選任

★会長・副会長 挨拶

- (3) 図書館基本計画審議会 議事

前回土産資料 説明

審議会議題⑩ 新「舞鶴市資料収集方針と資料選定基準」を確認する

審議会議題⑪ 新中央図書館の候補地とその適正を検討する

*質問、意見は以下のとおり

★会長

- ・ 東舞鶴駅前と西舞鶴駅前では、概ね西舞鶴駅前の敷地に優位性がある、との評価が示されている。

★ 副会長

- ・ 駅前の土地を候補とされている。一昔前は駅に近くバスターミナルも近いところが図書館の適地と言われていたが、現況は車社会である。駅の乗降客数が多くない場合は、車で来館する利便を考えて郊外のバイパス沿いの敷地を検討してもよいのでは。
- ・ 塩尻市立図書館は少し駅から離れているが、駐車台数が潤沢で市外からの利用も多い。郊外型で駐車しやすい大規模な商業施設が多く利用されるのと同じ理由だろう。
- ・ 西舞鶴駅前周辺は、城下町の旧市街で道が狭くないか。車のアクセスは良いのか。

☆ 事務局

- ・ 事前には様々な検討を行ったが、まずは市有地で未利用地であることを前提に、候補地を選定した。

★ 会長

- ・ 市の候補地選定には、理由があるのだろう。用地買収にかかる時間や費用などを考慮して、市有地から選定されている。念のため他の候補地は検討できないか、用地買収はできないか、次回もう一度回答願います。

★ 副会長

- ・ 西舞鶴駅前敷地の北側はどのように利用されるか決まっているのか。

☆ 事務局

- ・ 未定だが、利用するには文化財調査が必要な場所なので、建物をつくる場合は図書館との一体整備は工期的に難しい。平面的な駐車場のような利用であれば図書館と並行して整備が可能と考える。

☆ 事務局（計画同人）

- ・ 西舞鶴駅前の敷地は駐車場スペースを確保したうえで建築面積 3000 m²程度が確保可能。
- ・ 策定準備部会では舞鶴市のまちづくりについて紹介してきた。市は公共交通の将来計画についてもまとめている、バスについては工夫し、古くからまちの中心であった東舞鶴駅・西舞鶴駅周辺市街地の求心力を上げて、交通結節点である中心部に人を集めようというビジョンが示されている。
- ・ 市有地が駅前にあったということもあるが、中央図書館もまちの求心力を上げる一翼を担うのであれば、交通システムの集約がされている駅近くに設置するのは妥当と考える。
- ・ 中央図書館を郊外地に設置すると、車を運転できない人のアクセスの問題がある。また、市外から利用者が来る場合は、図書館を探して走りまわることになるかもしれない。

★ 副会長

- ・ 今国会でも自動運転について法改正が見込まれている。バス交通については、自動運転が人件費削減につながり、路線拡充が容易になっていくと考えられる。今後はスマートシティのように施設を集約しなくてもよくなっていくのでは、と期待される。
- ・ 図書館の利用を上げるには、広い施設面積が効果的である。中途半端な規模では、利用者も限られてしまい、何のためにつくったかわからなくなる。少しお金をかけて大きな施設をつくったほうが、何倍も利用されて効果が現れてくる。郊外地であれば、より広い敷地が確保できて、施設面積を大きくできれば、より集客力が上がる。
- ・ 浦安市は人口 16 万人で図書館は年間 100 万人が来館する。塩尻市は中心市街地活性化をうたいシャッター街のなかに図書館をつくった。200 台程駐車できるので市外からも人が集まり、買い物でお金が落ちるようになった。
- ・ 求心力を期待するのであれば、集客力のある施設をつくらなければならない。図書館だけ考えるとそれほど大きなものはつukれないが、政策として市全体の人の流れを変えるような施設にしようとするなら、大きな施設も考えられるのではないか。舞鶴市にも 6000 m² くらいの中央図書館ができれば変わるだろう。

★ 会長

- ・ 施設面積の自由度と駐車場の展開を考えると、2つの候補地では西舞鶴駅前が優位、ということは解った。中央図書館の規模は延べ面積 4000 m² 以上で開架冊数 30 万冊以上と、繰り返し議論に上っているが、この敷地で可能だということが確認できた。
- ・ いずれの敷地に中央図書館ができるにしろ、全市サービスシステムの構築が重要である。

審議会議題⑫ 全市全域図書館サービスシステムを再編する

* 質問、意見は以下のとおり

★ 委員

- ・ バスの利用について、舞鶴市民にとってのバスはバス停に行くまでが困難な人も多い。バスの乗り方を知らない人もいるようだ。
- ・ 既に走っているバスや大型車両の活用はできないか。BM車を走らせる以外にも、図書館の利用促進に名乗りを上げてくれるバスはないか。デイサービスや通園・通学・通勤バスなど様々なバスが走っている。バスの中に返却ボックスがあつたら便利だし、図書館の横を通るバスは、団体貸出の運搬などに利用させてもらえないか。スイミングや塾の送迎バスなどもある。地域貢献やCO₂削減貢献団体としての宣伝効果があるとすれ

ば協力側にもメリットがあるのではないか。

- ・ SNS の活用について、おおい町図書館ではビブリオバトルなどのイベント紹介、豊橋市まちなか図書館では、開館前から投稿をスタートさせている。舞鶴市でも今後 SNS の活用をしてほしい。

★ 会長

- ・ 民間のバス会社も、利用が見込めるところには路線を拡充する。そういったリサーチを答申に加えてもよいのではないか。奈良県のバス会社に聞いたところ、ほとんどの路線が赤字だという事例もあった。便数を増やしたいなら利用側も工夫をしてほしいということで、集客力の高い施設をつくるのは効果的だろう。

★ 副会長

- ・ バスの中に返却ボックスを、というよりは、乗降の多いバス停に返却ボックスを置かせてもらうほうが協力は得やすいだろう。バス運転手はワンマンで仕事が多く、本は重いので重労働も加わると組合運動にまで発展しそうだ。
- ・ 図書館の利用は、移動時間 15～20 分程度が利用するかしないかの許容範囲といわれている。あたらしい交通システムやドローン配送についても事例が増えてきた。人や物の配送にコストが掛からなくなっていくだろう。設計中の別府市の図書館では、屋上にドローン発着場を計画している。
- ・ 開館前から SNS を活用するというのであれば、アイデア募集なども良いかもしれない。開館前からイベントを行い、ボランティアグループを立ち上げたり、利用者を取り込むような活動は塩尻市でも行われていた。舞鶴市も市民を巻き込み、交通アイデアも募ってはどうか。

★ 会長

- ・ 公共交通に頼らず、市民で集まって助け合いをする事例もある。神戸市のある団地では市民が当番制のような形で自家用車を使った送迎サービスを行っている。
- ・ 基本計画答申に、こうした提案を「アイデア集」として添付しても良いのではないか。

★ 委員

- ・ オムロンと提携してやっていた「m e e m o」は終わったのか。

★ 事務局

- ・ 令和 2 年度、高野地区などで「m e e m o」という実証実験を行った。自家用車の乗り合いで駅や施設へ行くといったものだったが、今後どのように運行していくかは検討中

となっている。

★ 会長

- ・ 交通システムについては既に「舞鶴市地域公共交通計画」という調査があって、所管課が検討している。連携して考えていくことだろう。

審議会議題⑬ 学校図書館整備充実化のための文科省施策と他市事例研究

審議会議題⑭ 京都府北部の図書館広域連携を考える

今回土産資料 説明

質問、意見は以下のとおり

★ 委員

- ・ 図書は心のオアシスとして大切だと思っている。子どもにとって「おはなしの部屋」などの図書館の活動はありがたい。親子で図書館に通うきっかけにもなる。また、親が図書館に連れていくようになると、子どもも図書に興味を持つようになる。
- ・ 地域によっては図書館が遠い近いということはあるが、若い親世代は殆どがマイカーを持っている。車で商業施設に行くように図書館に行くことが習慣化するとよい。
- ・ 幼稚園の子どもたちは虫探しに夢中になっている。小さな図鑑を持ち歩いて遊んでいるが、本の良いところは隣に似た虫が載っているところ。なかまの虫を調べることなどに興味が広がっていくと良いと感じている。

★ 委員

- ・ 西舞鶴駅前に中央図書館ができるのは良いな、と思った。
- ・ 塩尻市立図書館の資料で、分館の開館時間や職員配置・貸出冊数のまとめなどは、舞鶴市の図書館を考えるよい参考になった。

★ 委員

- ・ 課題解決型図書館をつくっていこうとしている。ただ図書館があるだけではだめで、そこに足を運ぶ仕掛けがあるとよいのでは。塩尻市立図書館はいろんな施設との複合になっていて、他の施設を利用するのも図書館にいくきっかけになる。舞鶴市も参考にしたいと感じた。

★ 委員

- ・ 閉会される「いつわ会」（ボランティア組織）で話を聞く機会があり「イベントではなく

とりあえず居場所がほしい」と言われたのが印象に残った。

- ・ 舞鶴市でも「子ども食堂」の活動が見られるようになっている。食事だけでなく宿題も見てくれる、図書館に近いような子どもの居場所になっているようだ。

★ 委員

- ・ 中学校ではタブレットが一人一台配られて、図書館に行かなくても調べごとができるようになってきている。それでも活字をしっかりと読むことは大切であり、朝読書に週一回取り組んでいる。
- ・ 学校図書館は昼休みに開放しており、図書室でゆっくり本を読む生徒もいて、居場所としても大切だと考えている。

★ 委員

- ・ 新中央図書館が具体的にイメージできるような資料を提供された。こんな図書館になれば行ってみたいし、少しずつ市民にも発信していければと思った。
- ・ 新中央図書館の敷地は西舞鶴駅前が優位ではあるが、東舞鶴駅前でも市営駐車場が利用できることを考えれば建物の大きさも工夫できるかと思った。駅に近いことが利便性が高いかはよく解らないが、舞鶴はやはり車社会なのでそれを念頭に置きつつ、皆が集いやすいところに設置できればよいと思う。

★ 委員

- ・ 新中央図書館の敷地として、個人的に東舞鶴駅前にできたらという夢があったので残念。
- ・ 西舞鶴駅前の住宅地の中に図書館ができると、市政や生活とどう関わりあえるかイメージしにくい。
- ・ 東西循環バスは40分間隔で、定時にも運行していないこともあり便利ではない。私はタクシーを利用することが多い。
- ・ 舞鶴から綾部や福知山へ通う高校生の駅利用状況や保安学校の学生の外出など利用効果も考えたい。

★ 副会長

- ・ 図書館の大切な目的は、地域の課題解決と利用者の自己実現のサポートにあり、本を貸すことは手段に過ぎない。子どもを育てる大人を変えること、ターゲットは大人である。
- ・ 良い図書館には、何もしなくても広域から利用者が集まる。魅力のある図書館には、遠くからでも人が来る。その要素として、ある程度の床面積は必要であることを確認しておきたい。

★ 会長

- ・ 立地の最良案は難しく、様々な制約があるなかで複数の候補から比較をすることしかできないものである。それでも郊外地の他の候補は考えられないか、事務局への宿題としたい。
- ・ 交通利便性については、交通を便利にしてしまうような魅力的な図書館をつくる目標をたてたい。開架 30 万冊、駐車場 150 台以上の規模を考えたい。
- ・ 学校図書館との連携は必須である。議論でふれてこなかったが、学校司書についても基本計画で言及したい。市内の司書資格を持つ方を募集し、正規職員でなくても働いてもらえるのではないか。
- ・ 分館について、議論が足りていないように思う。塩尻市も小さな分館がいくつかあり、参考になるだろう。舞鶴市ではどのようにしていくか議論の材料がほしい。

★ 副会長

- ・ 職員配置について、中央図書館には優秀な司書が必要。現在の舞鶴市立図書館の正規職員は 4 人で、がんばって勉強しているが、優秀な司書をヘッドハンティングするようなことも考えなければならないだろう。採用についても基本計画で記載しておきたい。
- ・ 司書が多くなれば、研鑽もより効果が期待できる。

★ 会長

- ・ 5 市 2 町の北部連携で、司書の共同採用をすることやローテーションで人事異動していくなども構想できる。採用ができなくても共同研修ができるだろう。共同選書などについても構想したい。府立図書館まで枠が広がるとよいのだが。
- ・ 図書館と学校司書の定期協議を行う自治体もある。学校が忙しいというのは承知しているが、提案として記載したい。

★ 事務局

- ・ 本日諮問したとおり、図書館再編の基本計画を本年 9 月にまとめる。
- ・ 昨年度の策定準備部会の議論を踏まえて、基本計画審議会では 4 回程度の会議をもって「原案」をかためていく予定。
- ・ 図書館基本計画では、中央館の建設はもとより東西図書館・分館の今後のあり方についても答申を示すこととなり、市民から様々な意見が寄せられると考えられる。図書館再編により、利便性が大きく後退する地域が生じないように、対応策も計画に盛り込んでいかなければならない。